

『選挙研究』の編集・査読スケジュールについて

『選挙研究』は、選挙学会会員の研究成果を発表する媒体として重要な役割を果たして参りました。しかしながら、編集委員あるいは査読委員を務めた御経験がない会員の皆様には、その編集および査読の過程に分かりにくいところがあるかもしれません。そこで、会員の皆様が論文を投稿する際に計画を立てやすくすることを目的に、『選挙研究』の基本的な編集の周期と査読に要する期間をご案内することに致しました。

1. 『選挙研究』の編集・入稿のスケジュールについて

皆様ご存じのように選挙研究は毎年2号発行されております。各巻の第1号が6月、第2号が12月に刊行されます。出版社への入稿は第1号が2月末、第2号が8月末です。編集委員会からの依頼論文や書評の場合は、著者への依頼時に締め切りを伝えています。査読論文につきましては、紙幅の許す範囲内で、2月末に最終稿が間に合った論文は第1号に、8月末に最終稿が間に合った場合は第2号に掲載されます。

2. 『選挙研究』の査読スケジュールについて

現在、選挙学会は『[選挙研究](#)』論文投稿システムを通じて、投稿を受け付けています。受付終了後、査読委員会では、電子メールを用いた審議等を通じて、適宜、匿名査読者の選定並びに査読依頼をしております。従いまして、投稿から最初の査読結果が戻るまでに要する時間は、当該論文の完成度にもよりますが、約3カ月程度です。修正・再査読の場合、査読結果に応じて再投稿がなされてから、最終結果が出るまでにやはり3カ月程度かかります。修正・再投稿に要する時間にもよるのですが、最初の投稿から最終結果の確定まで、最短で6カ月から7カ月の時間がかかると予想されます。

従いまして、年2号体制では、8月頃までに投稿すれば、最短で翌年2月末迄に査読のプロセスを終えて第1号に最終稿を入稿できることとなります。ただし、これは査読および再投稿が円滑に進んだ場合の想定ですので、必ずしも第1号への掲載が保証される訳ではないことをご理解下さい。同様に、2月頃までに投稿頂いた場合、査読が円滑に進めば、8月末迄に査読のプロセスを終えて第2号に最終稿を入稿できることとなります。繰り返しのようになりますが、上記はあくまで所要時間の見込みであることを、ご理解下さい。

3. 掲載証明書について

査読を経て掲載が決定した論文につきましては、編集委員長名で掲載決定の証明書をお出しすることが可能です。

4. 投稿日・最終稿提出日について

『選挙研究』第32巻第1号、および、第2号については、第32巻編集委員会の責任で投稿論文の投稿日及び最終稿提出日を適切な場所に記載します。

ご参考までに、投稿から論文掲載までの「流れ」と「予想される期間」を以下に示します。

<u>担当者（作業内容）</u>	<u>予想される期間</u>
投稿者（論文投稿）	
→ 編集委員長（形式要件のチェック）	<u>数日</u>
→ 査読委員長（担当査読委員の委員会への提案）	
→ 査読委員会（メール審議）	
→ 専門分野担当の査読委員（レフリー候補提案・決定）	<u>数日</u>
→ 査読委員長（レフリーに査読承諾の打診）	<u>1週間程度（遅れることあり）</u>
→ レフリー（査読）	<u>1ヶ月（遅れることあり）</u>
→ 査読委員長（査読結果の集約、結果通知案）	<u>数日</u>
→ 査読委員会（査読結果をメール審議） ¹	
① 審査を通過した場合	
→ 査読委員長（投稿者、編集委員長）への通知	
→ 投稿論文が掲載	
② 審査を通過しなかった場合	
→ 投稿者による論文の修正・再投稿	<u>数ヶ月（投稿者による）</u>
→ 査読委員長（形式要件のチェック）	<u>数日</u>
→ レフリー（再査読）	<u>1ヶ月（遅れることあり）</u>
→ 査読委員長（査読結果の集約、結果通知案）	<u>数日</u>
→ 査読委員会（査読結果をメール審議） ²	
→ 査読委員長（投稿者、編集委員長への通知）	
→ 再投稿論文が掲載	

以上です。多くの会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

2015年8月10日

選挙学会 2015年度査読委員長 浅野正彦
第32巻編集委員長 前田幸男

¹ 判定が微妙なときは年4回の正規委員会で検討

² 判定が微妙なときは年4回の正規委員会で検討